記者発表資料

発表先	石川県政記者クラブ

平成２５年　８月　７日

扱い	配付を持って解禁

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

『第４回片山津海岸保全対策技術検討会』を開催します。

～防護、環境、利用のバランスがとれた海岸整備を目指して～

新堀川と尼御前岬に囲まれた片山津海岸（延長約 2.3ｋｍ、平成 16 年度　直轄化区間）は、海岸侵食が激しく砂浜の大半が既に喪失しており、護岸の背後には北陸自動車道が接近（約４０ｍ）しているなど、抜本的な侵食対策が望まれています。

また、本海岸は、漁業が盛んなことや、越前加賀海岸国定公園内に位置することから多くの人に利用されています。

このような現況をふまえ、平成２２年度に防護・環境・利用に関してバランスのとれた保全対策を検討するため本検討会が発足しました。過去 3 回の検討会で、礫養浜を主体とした保全計画が望ましいとの結果となり、昨年度、試験養浜を実施しました。

今回の第 4 回片山津海岸保全対策検討会では、昨年度実施した試験養浜の結果により今後の養浜の進め方について検討します。

〈第４回検討会〉

【日時】　平成２５年　８月　８日（木）１４：３０～１６：３０

【場所】　金沢河川国道事務所（２階　会議室）
石川県金沢市西念４丁目２３番５号

【検討内容】
・昨年度の試験養浜とモニタリング結果について
・養浜計画の見直しについて
・今年度の試験養浜計画（案）とモニタリング計画（案）について

※撮影は会議冒頭の挨拶までの「頭取り」のみとさせて頂きますのでご理解願います。
また、会議内容のお問い合わせは会議終了後にお願いいたします。

【問い合わせ先】
国土交通省北陸地方整備局　金沢河川国道事務所
海岸課長　西川　一
ＴＥＬ　：０７６－２６４－９９１５（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）
ＦＡＸ　：０７６－２３３－９６１２
※番号通知設定でお掛けください。

別紙－１

片山津海岸保全対策技術検討会

１．委員名簿

（敬称略）

	組織・団体	役　職	氏　名	備　考
委　員	愛知工科大学	学長	安田　孝志	委員長
	金沢大学	名誉教授	石田　　啓	
	金沢大学	教授	由比　政年	
	国土交通省 国土技術政策総合 研究所	海岸研究室長	諏訪　義雄	
	北陸地方整備局 河川部	河川計画課長	村山　英俊	
	石川県 土木部	河川課長	中出　修悦	
	加賀市	建設部長	林　克之	

２．その他

・片山津海岸保全技術検討会は公開で行います。

・会場では傍聴席を用意しています。

・会場開始後の入室は原則認められていませんので、ご注意ください。

別紙 2

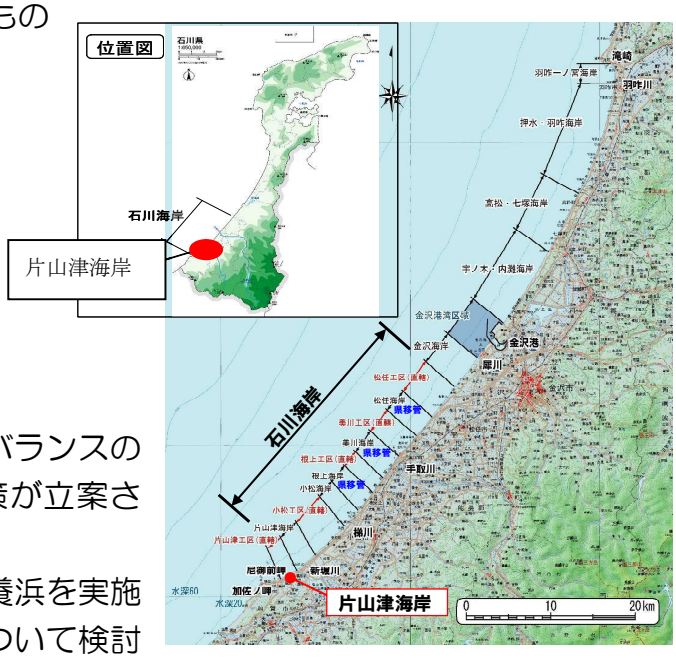
片山津海岸保全対策技術検討会の概要

● 片山津海岸保全対策技術検討会について

新堀川と尼御前岬に囲まれた延長約 2.3km の片山津海岸は、海岸侵食が激しく護岸被災が頻発しているため、海岸侵食に対する抜本的な対策が望まれ、平成 16 年 6 月に直轄海岸工事施行区域に編入されました。

本海岸は、岩礁域が存在すること、沖合では定置網漁が行われていること、越前加賀国定公園内に位置し尼御前岬は「いしかわの自然百景」に選出されていることなどから、防護・環境・利用に関してバランスのとれた保全対策が必要となっています。

本検討会は、片山津海岸の最適な保全対策工法について、技術的な検討を行うことを目的として平成２２年度に学識者等を委員として設立されたものです。



●対象区間

加賀市新堀川左岸～尼御前岬までの区間
（L=2,325m）

●今までの検討会における検討内容

①第１回検討会～第３回までの検討内容

・片山津海岸の現況を踏まえ、防護・環境・利用にバランスのとれた保全対策として礫による養浜を主とした対策が立案されました。

・また、礫養浜の効果や影響を調査するため、試験養浜を実施することとし、試験養浜やモニタリングの方法等について検討しました。

②.今回（第４回検討会）の検討内容(案)

・ 昨年度実施した試験養浜とそのモニタリング結果を踏まえ、その効果等を検証するとともに、今後の養浜計画の内容や今年度の試験養浜とモニタリングの計画等について検討して頂きます。